

貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	101,964	(負債の部)	88,444
流動資産	86,087	流動負債	82,348
現金及び預金	12,229	支払手形	19,312
受取手形	2,323	工事未払金	20,715
完成工事未収入金	41,137	短期借入金	22,900
販売用不動産	23	未払金	1,455
未成工事支出金	17,978	未払費用	392
仕掛品	1,178	未払法人税等	103
材料貯蔵品	40	未成工事受入金	13,188
短期貸付金	1,935	預り金	1,624
前払費用	162	賞与引当金	210
未収入金	8,687	完成工事補償引当金	133
その他流動資産	643	工事損失引当金	2,188
貸倒引当金	△252	関係会社整理損失引当金	91
固定資産	15,876	その他流動負債	33
有形固定資産	11,808	固定負債	6,095
建物・構築物	1,944	退職給付引当金	3,674
機械・運搬具	375	役員退職慰労引当金	259
工具器具・備品	202	繰延税金負債	24
土地	9,282	再評価に係る繰延税金負債	2,115
建設仮勘定	3	その他固定負債	20
無形固定資産	26	(純資産の部)	13,520
投資その他の資産	4,042	株主資本	12,269
投資有価証券	1,036	資本金	4,218
関係会社株式・関係会社出資金	764	資本剰余金	8,780
長期貸付金	2,499	資本準備金	8,780
破産債権、更生債権等	2,522	利益剰余金	△670
その他投資等	1,160	利益準備金	506
投資損失引当金	△76	その他利益剰余金	△1,176
貸倒引当金	△3,866	別途積立金	3,000
資産合計	101,964	繰越利益剰余金	△4,176
		自己株式	△59
		評価・換算差額等	1,250
		その他有価証券評価差額金	51
		土地再評価差額金	1,199
		負債・純資産合計	101,964

損 益 計 算 書

(平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高	116,478	
兼業売上高	4,245	120,723
売上原価	111,925	
兼業売上原価	3,980	115,905
売上総利益	4,553	
兼業事業総利益	264	4,818
販売費及び一般管理費		7,726
営業外収入	188	2,907
受取利息・配当金	129	
貸与料収入	58	376
営業外費用	286	
支払替利差	49	
為形売却損	68	
その他	42	446
経常損失		2,977
特別利益	817	
固定資産売却益	409	
投資有価証券売却益	132	1,360
その他	14	
特別損失	775	
固定資産除却損・売却損	470	
減損	576	
退職特別加算	453	2,290
貸倒引当金の繰入		
その他		3,908
税引前当期純損失	93	
法人税、住民税及び事業税	△140	△46
法人税等調整額		
当期純損失		3,862

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準および評価方法

子会社株式および関連会社株式……………移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの……………期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの……………移動平均法による原価法

2. たな卸資産の評価基準および評価方法

販売用不動産・未成工事支出金・

仕掛品……………個別法による原価法

材料貯蔵品……………移動平均法による原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………建物（建物附属設備を除く）のうち平成10年4月1日以降に取得したものについては定額法、それ以外のものについては定率法によっております。

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより営業損失、経常損失および税引前当期純損失は、それぞれ8百万円増加しております。

(追加情報)

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した事業年度の翌事業年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

これにより営業損失および経常損失がそれぞれ31百万円、税引前当期純損失が29百万円増加しております。

無形固定資産……………定額法

但し、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

4. 引当金の計上基準

投資損失引当金……………関係会社への投資に係る損失に備えるため、当該会社の財政状態を勘案して必要額を計上しております。

貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金……………従業員に支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

完成工事補償引当金……………完成工事等に係る瑕疵担保等の費用に備えるため、過去の実績率を基礎に将来の見積補修費を加味して計上しております。

工事損失引当金……………手持工事等のうち損失の発生が見込まれるものについて、将来の損失に備えるため、その損失見込額を計上しております。

関係会社整理損失引当金……………関係会社の事業整理により当社が負担することとなる損失に備えるため、当該損失見込額を計上しております。

退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

また、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（12年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

役員退職慰労引当金……………役員および執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5. 完成工事高の計上基準

完成工事高の計上は、工事完成基準によっておりますが、長期大型工事（工期1年以上かつ請負金額5億円以上）については、工事進行基準を適用しております。

6. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7. 消費税等の会計処理方法

税抜方式によっております。

8. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 貸借対照表に関する注記

1. 関係会社に対する短期金銭債権	4,488百万円
長期金銭債権	2,432百万円
2. 関係会社に対する短期金銭債務	2,433百万円
3. 有形固定資産の減価償却累計額	13,005百万円
4. 保証債務	
(1) 関係会社の銀行借入金等に対して債務保証を行っております。	
㈱コンポニンド・ベトンジャヤ	531百万円
内、259百万円は外貨建であります。(1,250千US\$、12,403,699千ルピア)	
タイ菱和建设㈱	0百万円
0百万円は外貨建であります。(252千パーツ)	
計	532百万円
(2) 関係会社の割賦未払金に対し債務保証を行っております。	
三菱マテリアル㈱	958百万円
(3) 取引先の手付金に対し債務保証を行っております。	
㈱ゴールドクレスト	101百万円
㈱サンシティ	51百万円
計	152百万円
5. 受取手形割引高	7,347百万円

6. 事業用土地の再評価について

「土地の再評価に関する法律」(平成10年3月31日公布法律第34号)および「土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律」(平成13年3月31日公布法律第19号)に基づき、事業用土地の再評価を行い、評価差額については、当該評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として純資産の部に計上しております。

再評価の方法

「土地の再評価に関する法律施行令」(平成10年3月31日公布政令第119号)第2条第3号に定める固定資産税評価額に基づき算出する方法によっております。

再評価を行った年月日	平成14年3月31日
再評価を行った土地の期末における 時価と再評価後の帳簿価額との差額	△1,636百万円

3. 損益計算書に関する注記

1. 工事進行基準による完成工事高	46,079百万円
2. 関係会社との営業取引高	
売上高	1,990百万円
仕入高	10,151百万円
関係会社との営業取引以外の取引高	407百万円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における自己株式の種類および株式数

普通株式	133,340株
------	----------

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

繰越欠損金	6,709百万円
貸倒引当金繰入限度超過額	1,809百万円
退職給付引当金	1,765百万円
減損損失	1,458百万円
工事進行基準損失	922百万円
工事損失引当金	892百万円
関係会社株式・出資金評価損	814百万円
ゴルフ会員権評価損	234百万円
減価償却超過額	172百万円
投資有価証券評価損	109百万円
役員退職慰労引当金	105百万円
その他	1,526百万円

繰延税金資産小計 16,521百万円

評価性引当額 △16,521百万円

繰延税金資産の合計 ー百万円

繰延税金負債

 その他有価証券評価差額金 24百万円

繰延税金負債の合計 24百万円

繰延税金負債の純額 24百万円

上記のほか、「再評価に係る繰延税金負債」として計上している土地の再評価に係る繰延税金資産および繰延税金負債の内訳は以下のとおりであります。

土地の再評価に係る繰延税金資産	766百万円
評価性引当額	△766百万円
繰延税金資産の合計	－百万円
土地の再評価に係る繰延税金負債	2,115百万円
繰延税金負債の純額	2,115百万円

6. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表上に計上した固定資産のほか、自動車、電子計算機、事務用機器設備の一部については、所有権移転外ファイナンスリース契約により使用しております。

7. 関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社および法人主要株主等

属性	会社等の名称	資本金 (百万円)	事業の内容	議決権等の 所有 (被所有) 割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
					役員 の 兼任等	事業上 の 関係				
その他の 関係会社	三菱マテリアル㈱	119,457	非鉄金属	被所有 直接 40.0 間接 1.5	兼任 1人 転籍 3人	当社への 工事の発 注・建設 資材等の 販売並び に不動産 賃借等	債務保証 (注)	958	－	－

取引条件および取引条件の決定方針等

(注) 債務保証については、三菱マテリアル㈱の割賦未払金に対するものであります。

2. 子会社等

属性	会社等の名称	資本金 (百万円)	事業の内容	議決権等の 所有 (被所有) 割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
					役員 の 兼任等	事業上 の 関係				
子会社	ビー・エス・コンク リート㈱	90	コンクリート 製品の製造、 販売	所有 直接100.0	兼任 2人	当社仕入 先	設備の貸与 (注1、2)	160	未収入金	27

取引条件および取引条件の決定方針等

(注1) 設備の貸与料については、法人税法に基づく減価償却方法を適用した当該設備の減価償却費に当該設備に関わる当事業年度の固定資産税を加味して決定しております。

(注2) 設備管理費73百万円を相殺した純額86百万円を営業外収益に計上しております。

8. 1株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額	338円82銭
2. 1株当たり当期純損失	119円19銭

9. 重要な後発事象に関する注記

連結子会社間の合併

グループ会社の経営資源の集中と、より一層の効率化を図るため、当社の完全子会社である株式会社ピーエス機工と株式会社秦野製作所を平成20年4月1日を期日として合併し、株式会社ピーエスケーとなりました。なお、詳細は「連結注記表 6. 重要な後発事象に関する注記」に記載のとおりであります。

10. 減損会計に関する注記

当社は、固定資産を共用資産、支店資産、工場資産、遊休資産に分類しさらに、支店資産については支店ごとに、工場資産については工場ごとにグルーピングしております。

これらの資産グループのうち、受注や施工環境悪化により投資資金の回収が困難であると判断される支店資産、工場資産および遊休資産については、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

減損損失の金額は775百万円であり、その内訳は、建物299百万円、構築物13百万円、機械装置90百万円、車両運搬具2百万円、工具器具備品32百万円、土地290百万円、無形固定資産35百万円、リース資産12百万円であります。

分類・用途	場所	種類	減損損失（百万円）
支店資産	大阪支店 大阪府大阪市	土地・建物等	326
工場資産 (コンクリート 製品製造設備)	北上工場 岩手県北上市	土地・建物・機械装 置等	250
遊休資産	北海道小樽市	土地・建物等	71
支店資産	名古屋支店 愛知県名古屋市	土地・建物等	66
支店資産	広島支店 広島県広島市	土地・建物等	61

なお、回収可能価額は、正味売却価額を使用しており、不動産鑑定評価基準に基づく不動産鑑定士からの評価額から建物等の処分費用見込額を差し引いて算定しており、帳簿価額の重要性が低い資産については固定資産税評価額を使用しております。